

「等速性の膝関節伸展筋力測定における適切な測定回数の検討」の
お知らせと調査協力をお願い

当院では以下の臨床研究を行っております。

【研究課題】

等速性の膝関節伸展筋力測定における適切な測定回数の検討

【研究の概要、背景、目的】

本研究では、変形性膝関節症を対象に、筋力の適切な測定方法を調査します。

筋力測定は理学療法の主要な評価項目の一つになります。筋の収縮様式には、等尺性や等張性、等速性があります。そして、等速性収縮を利用した筋力測定は、動的な筋肉のパフォーマンスを測定するためのゴールドスタンダードになっております。等速性の最大筋力は、変形性膝関節症や人工膝関節置換術、前十字靱帯損傷等の種々の疾患に対して、歩行や階段昇降、スポーツ復帰との関連が報告されております。

等速性の筋力測定では、3 から 5 回の測定が行われことが多いです。しかし、最大筋力を得るために、何回測定を行うのが適切かには、議論の余地が残っております。

本研究の目的は、等速性の膝関節伸展筋力測定における、適切な測定回数を明らかにすることです。本研究の結果は、より適切な筋力測定方法の立案につながる可能性があります。

【研究期間】

2022 年 6 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

【研究対象】

対象者：変形性膝関節症 40 名程度

選択基準：人工膝関節全置換術目的に入院された方

除外基準：術前の筋力測定ができなかった方

【研究の方法】

当院のリハビリテーションでは、人工膝関節全置換術を受ける前に術前測定が行われております。本研究では、その測定結果を部分的に 2 次利用し、研究を行います。

【2 次利用する情報】

- ・ 基本情報（年齢、性別、身長、体重）
- ・ 医学的情報（診断名、既往歴）
- ・ 膝関節筋力

【予想される利益、不利益】

利益として、より適切な筋力の測定方法が明らかになります。本研究はデータを 2 次利用するものです。本研究の実施に伴い、新たに生じる不利益はありません。

【個人情報の取り扱いについて】

本研究の成果を学術目的のために学会や論文で公表する際には、個人情報を厳重に守り、個人が特定できる情報は使用しません。

【研究協力の自由について】

研究への協力は自由意志であり、拒否をされた場合でも不利益はありません。協力を希望されない場合は、お手数をおかけしてしまい申し訳ありませんが、ご連絡をお願いいたします。

【同意撤回可能期間】

研究の拒否は 2026 年 1 月 31 日までに、ご連絡をお願いいたします。

【利益相反について】

本研究に開示すべき利益相反はありません。

【研究責任者連絡先】

総合病院土浦協同病院
リハビリテーション部
理学療法士主幹
蛭原文吾
電話 029-830-3711（代表）